

■マレーシアについて■

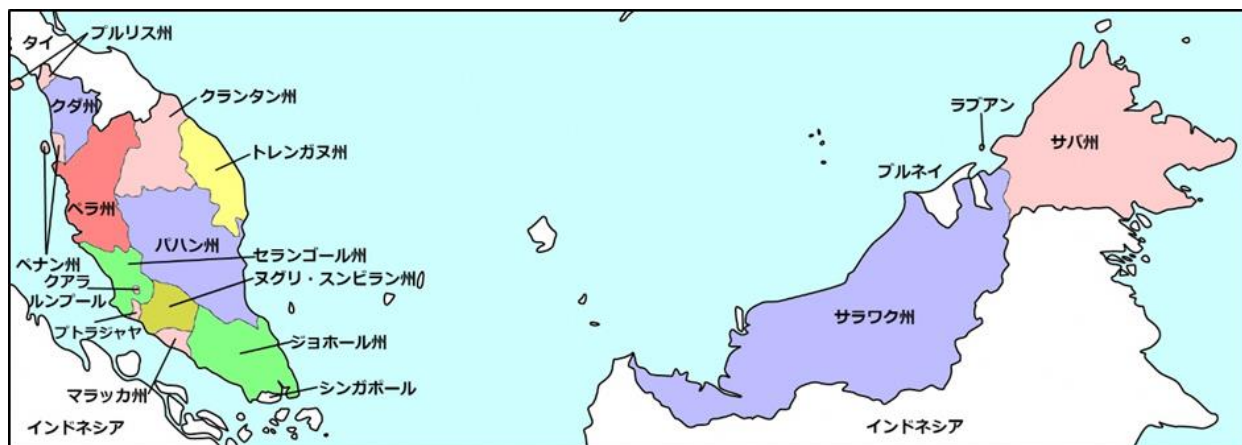
こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスの佐藤です。

今回は、2020年までに先進国入りを目指す経済開発構想「ビジョン2020」をスローガンに掲げるマレーシアについてご紹介させていただきます。

【マレーシア基本情報】

(データ出所：JETRO HP)

1. 正式国名：マレーシア (Malaysia)
2. 人口：3,170万人 (2016年)
3. 国土：33万290平方キロメートル (日本の0.89倍)
4. 首都：クアラルンプール (人口173万人)
5. 気候：ほぼ全土が高温多湿の熱帯雨林気候
6. 民族：マレー系 (約67%)、中国系 (約25%)、インド系 (約7%)、その他 (1%)
7. 宗教：イスラム教 (連邦の宗教) (61%)、仏教 (20%)、儒教・道教 (1.0%)、ヒンドゥー教 (6.0%)、キリスト教 (9.0%)、その他 (3.0%)
8. 公用語：マレー語



マレーシアの地図

【マレーシアの経済概況】

経済概況	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
実質 GDP 成長率(%)	7.4	5.2	5.6	4.7	6.0	5.0	4.3
1人当たり名目 GDP (USD)	8,926	10,260	10,633	10,814	11,055	9,560	9,545
失業率	3.3	3.1	3.0	3.1	2.9	3.1	2.9
消費者物価上昇率(%)	1.7	3.2	1.6	2.1	3.1	2.1	2.1

(データ出所：CEIC、統計局、IMF)

成長性のある魅力的な市場

マレーシアは、日本の約0.9倍の国土面積に対し人口3170万人（日本の4分の1）と、規模は小さいながらも中進国としては異例の速さで毎年人口増加を続けている国です。総人口の約53%が29歳以下という、若者が多い釣り鐘型の人口構造が特徴的です。国民一人あたりの名目GDPは近年1万ドル前後（タイの約2倍）を堅調に推移しており、アセアン諸国の中ではシンガポールとブルネイに続く第3番目の経済規模を誇ります。実質GDP成長率についても2010年以降4%台後半～6%を安定して維持しています。同時に、一世帯あたりの平均年収の伸び率も高く、マレーシア統計局の発表によると、2012年と2014年との比較において、僅か二年間で各州毎に10%前後の上昇が見られました。国民全体の平均月収5,000リンギット（マレーシアにおける外国人の最低賃金と同じ約15万円）は、東南アジア諸国の平均月収（3～9万円）と比べても極めて高い水準であり、物価が低く家族単位で生活を送るマレーシア人にとって十分な額と言えます。

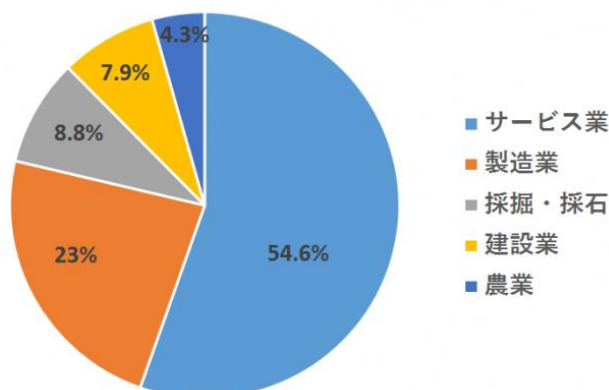
所得の増加と生活水準の向上により、マレーシア国民一人ひとりの購買力は年々高まっており、高級な物やサービスに対してお金を投じる富裕層向けのマーケットが拡大している状況です。また、国民の6割がイスラム教徒であることから、ハラール認証やイスラム金融の先進国でもあり、世界人口の4分の1の市場を持つイスラムマーケットへのハブとしても注目が集まっています。

主要産業と構成比

天然資源が豊富なマレーシアは、かつてはゴムやスズ、パーム油など第一次産品の輸出に依存した経済構造でした。しかし1970年代以降、工業化に向けて外資を誘致する政策が推し進められ、電子機器や金属製品等の製造・輸出を中心とした産業に主力が移行していきました。2016年度の産業別比率では製造業は全体の23%を占めており、内訳としては電気、電子、光学、石油、化学、ゴム、プラスチック製品などが主力となっています。鉱業の分野では天然ガスの生産が好調で8.8%、建設業では土木工事や住宅建築が進んでおり7.9%を占めています。また、内需市場の拡大と共に、卸売業、小売業、通信業といったサービス業においては年々持続的に成長しており、今や製造業を超えてGDP全体の55%弱を占めています。



【マレーシア実質GDP産業別比】



出展：マレーシア政府統計局

https://www.dosm.gov.my/v1/index.php?r=column/cthemByCat&cat=100&bul_id=aG1XUT10YmhLQjYvR01kWXp4V3ZWUT09&menu_id=TE5CRUZCblh4ZTZMODZlbnk2aWRROT09

マレーシアの投資環境

1.最低払込資本金

会社設立に必要な最低資本金は2リンギット（約60円）ですが、日本人の就労ビザ取得や許認可取得のため、実務的には50万～250万リンギットが必要になると考えられます。

2.出資比率

<製造業>

製造業は自動車組み立て等の一部の業態を除き、原則外資100%による進出が可能です。

<非製造業>

規制緩和の傾向にあります。コンビニや一般販売店、（高級ではない）レストランなど、一部の業種については外資100%による参入が禁止されています。

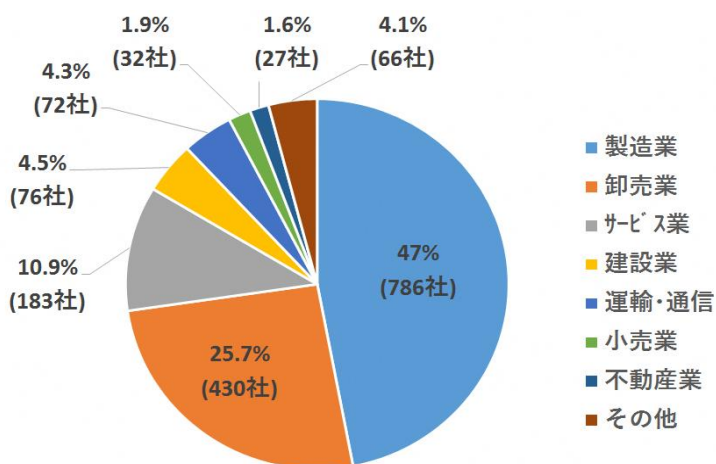
業種によってはブミプトラ（マレー系マレーシア人）取締役の登用義務や、マレーシアの民族構成比率に準じた従業員の民族構成比率が求められることもあります。

日系企業の進出状況

マレーシアに進出している日系企業は2016年4月末時点で1,672社に上り、マレーシアに対する直接投資額ランキングにおいても、日本は常に上位国にあります（2013年はトップ）。進出企業を業種別に見ると、製造業が最も多く、47.0%を占める786社、続いて卸売業430社（25.7%）、サービス業183社（10.9%）、建設業（76社、4.5%）、運輸・通信業72社（4.3%）、小売業32社（1.9%）、不動産業27社（1.6%）と続きます。

※日本からアセアン地域への直接投資先のトップはタイ（4,788社）、次にシンガポール（2,821社）、ベトナム（2,527社）、インドネシア（2,021社）の順で、マレーシアは5番目。

【日系企業進出業種別グラフ】



※出典：TDB「ASEAN 進出企業実態調査」
<https://www.tdb.co.jp/report/watching/press/pdf/p160504.pdf>

業種細分類別で見ると、製造業では「工業用プラスチック製品」と「抵抗器・コンデンサー・変成器・複合部品」が首位、非製造業では「電気機械器具卸売業（太陽光発電等高付加価値分野が堅調）」、「投資業」「受託開発ソフトウェア業」などが上位でした。かつては大手電気・電子メーカーの進出が相次いだマレーシアですが、近年の進出動向としては卸売業（日本本社で製造し、マレーシ

ア現地に販社を設立するケース）や専門小売業、外食産業といったサービス業の進出が多い傾向にあります。人口増加と内需市場の拡大を見据え、マレーシアを消費市場として捉える動きが出てきた結果といえます。今後も非製造業の割合は増えていくと考えられます。

1988年以降、高い経済成長率を維持し、数度の通貨危機も独自の政策で切り抜けてきたマレーシア経済ですが、2015年後半より、経済成長の伸び率が（右肩上がりながらも）やや減速傾向にあります。政権運営に対する不安や世界的な原油価格の下落、米国への資金集中による歴史的なリング安、主要貿易相手国である中国経済の減退など、様々な懸念事項に見舞われたことが要因です。中央銀行はリング安回復のために通貨対策を実施し、政府は財政立て直しのために消費税導入や補助金の削減を余儀なくされました。

また、兼ねてより問題視されてきた現地での労働力不足や人件費の上昇に加え、2016年7月より最低賃金が引き上げられ（95%の企業の進出先であるマレー半島部では11%）、労働集約型の産業は進出が厳しい状況にあります。既存企業が事業構造の再編や他国拠点への転進のため、マレーシアから撤退する動きもみられます。輸出型の経済モデル（2016年まで19年連続貿易黒字）で大きな成功を収め、外資の製造業を中心として発展してきたマレーシアにとって、今は大きな構造転換を図るべき時だと言われています。今後産業の高度化や外資誘致の為の規制緩和が進み、日系企業にとって、より魅力的な投資環境が整うことが望まれます。

☆☆タイから便り☆☆

～タイのバレンタインデー～



こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスのタイ人スタッフビューです。

今回は「タイのバレンタインデー」についてご紹介したいと思います。

2月14日のバレンタインデーは、好きな相手に気持ちを伝え、プレゼントを渡す日です。日本では女性から男性にチョコレートを送りますが、タイでは男性から女性に対し、バラの花やぬいぐるみ、チョコレートなどをプレゼントします。友達同士の場合は、女学生が制服にハートのシールを貼り合ったり、お菓子を配ったりします。

タイの国家開発管理研究所（NIDA）が25歳以下のタイ人1,250人を対象に実施したバレンタインデーに対する関心度調査（2016年2月）によると、「バレンタインデーと聞いて思い出すことは何ですか？」という質問に対し、1位はバラ／花（34.26%）、2位は父・母・子供・友人（25.49%）、3位は恋人や夫・妻（13.28%）という結果でした。タイはバレンタインデーになると路上でバラの花を売る人や、花束を持った男性を多く見かけます。また、夜になるとお祝いに出かける人達で渋滞が起きます。「一番に愛情を伝えたい人は誰ですか。」という質問に対しては66.56%の人が「父・母」との回答で、家族と過ごす人も多いようです。「恋人」と答えたのは17.5%のみでした。実は、タイ人が恋人と過ごす行事としては、バレンタインデーよりも12月に行われるロイクラトンのほうが重要です。



ちなみに「政府関係者の中で愛を伝えたい人は誰ですか。」という質問に対しては、1位がプラユット首相、2位がタクシン・チナワット（元首相）、3位はインラック・シナワトラ（元首相）。「芸能人の中で愛を伝えたい人は誰ですか？」という質問に対しては1位がアム・パチャラパー、2位がマリオ・マウラー、3位がナデート・クギミヤという結果でした。皆さんはバレンタインデーに誰と一緒に過ごしたいですか？

～タイ人に聞きました～

Q. 政府関係者の中で愛を伝えたい人は誰ですか？

1位 プラユット・チャンオチャ（現首相）

2位 タクシン・チナワット（元首相）

3位 インラック・シナワトラ（元首相）

Q. 芸能人の中で愛を伝えたい人は誰ですか？

1位 アム・アチャラパー

2位 ナデート・クギミヤ

3位 マリオ・マウラー

以上の結果となっています。この方々の魅力は、ここではとても紹介しきれません。

よろしければ、皆さま調べてみてください。

島根・ビジネスサポート・オフィス Shimane Busuiness Support Office(Bangkok)

担当；佐藤 揺 Tayuta Sato

Address :1 Glas Haus Building, 12 FL., Room 1202/D,Soi Sukhumvit 25,
Sukhumvit Rd.,Klongtoey-Nua,Wattana,Bangkok 10110

Tel :+66-(0)-2-261-10588

Mobile :+66-(0)-89-200-7763

Mail : shimane-bizsup@aapth.com

お気軽にご連絡ください。

当拠点の運営法人（島根県より業務委託）

■アジア・アライアンス・パートナー・ジャパン株式会社 <http://www.aapjp.com/index.html>

タイを中心に、ベトナム・インドネシア・インドにて主に日系中堅・中小企業様のアセアン進出や進出後の会計税務法務を中心とした運営支援業務を行っております。

▶ タイ経済指標

項目	単位	2013	2014	2015	2016
GDP 成長率	前年比ベ(%)	2.80	0.9	2.8	3.3(1~9月)
人口*	千人	68,382	67,065	67,293	67,476(10月)
労働者の数*	千人	39,808	38,963	39,165	37,792(12月)
失業率**	%	0.72	0.84	0.89	0.99(12月)
最低賃金*	バーツ/日				
バンコク		300	300	300	310(17年1月)
チョンブリー		300	300	300	308(17年1月)
アユタヤー		300	300	300	308(17年1月)
ラヨーン		300	300	300	308(17年1月)
賃金:全国製造業の平均	バーツ	11,066	12,074	12,305	12,402(12月)
インフレ率**	前年比ベ(%)	2.19	1.90	▲0.90	0.19(12月)
中央銀行政策金利*	%	2.25	2.00	1.50	1.50(12月)
普通貯金率**	%	0.68	0.59	0.56	0.47(12月)
ローン金利(MLR) **	%	7.16	6.96	6.75	6.47(12月)
SET 指数*	1975年:100	1,298.7	1,497.7	1,288.0	1,577.3(17年1月)
バーツ/100円**	バーツ	31.53	30.77	28.31	30.87(17年1月)
バーツ/米ドル**	バーツ	30.73	32.48	34.25	35.43(17年1月)
円/米ドル**	円	97.6	105.84	121.0	114.7(17年1月)
車販売台数(1月からの累計)	台数	1,337,631	884,346	795,905	765,593(12月)
BOI 認可プロジェクト	件数	2,016	1,662	2,237	1,567(11月)
BOI 認可プロジェクト金額	10億バーツ	1,027.3	729.4	809.4	816.4(11月)

*期末、**平均